

◎下記の URL のテレビ番組を見ながら、露和訳テキストを同時に聴き、鑑賞した。

[https://www.youtube.com/watch?time\\_continue=1&v=hEPb2hPiCRQ](https://www.youtube.com/watch?time_continue=1&v=hEPb2hPiCRQ)

## オプチナ修道院の祭典

(1998 年 10 月 22 日～23 日)

テレビ番組露和訳テキスト

オプチナ修道院での祭典を、モスクヴィヤテレビ放送局の特別番組としてお送りします。

オプチナ生神女進堂修道院はコゼリスク州の美しい松林の間にある、伝統の古い修道院です。

一見とても簡素に見えるこの修道院が世界的な名声を得ているのは、この修道院の代々の長老、克肖者として列聖された彼らの聖神<sup>o</sup>性に依るものです。それはロシアにおける修道精神のかためでありました。

10 月末、ロシア正教会において特別なできごとがありました。総主教直轄修道院であるこの修道院の修道院長、モスクワ及び全ロシアの総主教アレクシイ聖下が修道院を訪れ、オプチナの克肖者聖アンヴロシイの記憶のための聖体礼儀を行なったのです。

また、多くのゲスト、主教品が参拝する中、修道院内に新たに復興された「ウラジーミルの生神女教会」の成聖式が行なわれ、歴代の克肖者長老たちの不朽体が、この「ウラジーミルの生神女教会」に遷座されました。

ロシア正教会において、1996 年に 14 人の聖人が列聖されましたが、その中の一人がオプチナの克肖者長老聖アンヴロシイでした。

総主教聖下は、到着されると直ぐ聖アンヴロシイの不朽体の場所へ赴き、不朽体に接吻しました。また、オプチナの克肖者すべての不朽体の聖櫃ひとつひとつに接吻しました。

言い伝えによるとオプチナ修道院は、15 世紀にオプタという悔い改めた盗賊によって基礎が置かれました。

歴代長老たちの聖なる偉業によって修道院の名声はロシア全土に知れ渡りました。

聖なる偉業とは、比類ない深い信仰と、聖神<sup>o</sup> 性における経験豊かな判断力、慧眼の才、神から賜った癒しの才などです。

さまざまな階級の人たちが問題を解決するため、慰めを得るため、生き方のアドバイスを受けるために修道院の長老のもとを訪れました。

聖アンヴロシイは、一日平均 50 通余りの手紙を受け取りながら、一日に何十人もの巡礼者(子供から大人まで)を受け入れ、ひとりひとりに適切なアドバイスや慰め、優しい言葉を与えました

彼と会って感動したドストエフスキーが、その作品『カラマーゾフの兄弟』において描いたゾシマ長老という人物の原形は、聖アンヴロシイです。

革命後、修道院は破壊されました。1920 年代、次第に修道士が追い出され、修道院内の全ての教会が閉鎖されました。修道士たちは強制収容所や監獄で亡くなりました。修道院は、トラクター修理工場、そして専門学校となりました。

1987 年、国家はこの破壊された修道院を教会に返還しました  
最初の修道士たちにとって、殆どゼロから破壊されたものを修復する作業は、とても困難なものでした。聖堂、イコン、僧室、書籍、麦を植える畑…。

物資の足りない困難な中、修道士たちは「ルーシの洗礼千年祭」(1988 年)までに、基本的な修復を終え、最初の聖体礼儀を行なったのでした。

「オプチナの克肖者長老らよ、我等のために神に祈り給え」

この日は、聖アンヴロシイ列聖 10 年記念が、新しく復興した教会の中で行なわれました。

年々、建物の修復が進むと共に、最も大事なものも復興してきました。それはカノンに忠実な修道の厳格な伝統です。伝統においてこそ正教会の力、主イイスス・ハリストスを正しく讃美する力があるのです

その証拠として、何千人ものロシア全土からの巡礼者、そしてウクライナ、ベロルーシなど他国の正教会からの巡礼者が、聖神<sup>o</sup> 的な癒しを求めて今、この修道院を訪れるのです。

今皆さんがご覧になっているのは、大変機密的な場面です。新たに建てられた「ウ

ラジーミルの生神女教会」の宝座の成聖の場面です。

古くからの伝統に依り、宝座は、継ぎ目のない一つの大理石の固まりから造られています。伝統的な材料、蠟などを注ぎこみます。

総主教聖下と共に主教品たちが宝座を釘打っているのは、ゴルゴダの丘において主ハリストスが十字架に釘せられたことを象徴しています。

その後、石は、聖人の不朽体の一部と一緒に宝座の基礎に永久に置かれます。

この機密の一つひとつの行ないには深い意味があります、例えば蠟は、主ハリストスが十字架から降ろされた時、ニコディムとイオシフが主ハリストスの体を拭いた油を象徴しています。

正教会の聖堂は、主ハリストスの身体であり、その頭は主ハリストスです。

従って、今総主教聖下が司祷されている聖堂の成聖は、洗礼機密や、傅膏機密、神品機密と並ぶ、機密的な祈りです。これらの聖なる祈りによって、人間の手によって石や木で作られた建物が、神・聖神<sup>o</sup>の宿る神の家となるのです。

大主教クリメント座下が成聖を続けます。木の枝の先に付けられた短いほうき状のものに聖水をひたし、聖堂の壁を十字状に灌水していきます。

総主教アレクシイ聖下が成聖を終了し、最初の聖体礼儀を行ないます。

その後、十字行を行ないながら総主教、主教品、司祭、修道士たちが生神女進堂教会に向かいます。この日までオプチナの長老たちの不朽体が収められていた場所です。

まさに今日、多くの人々が人生の道標を見失っている今日、正教の信仰がその軸となっていたロシアの民族性を人々が見失いつつある今日、聖神<sup>o</sup>性の宝に触れる機会を私たちは得たのです。その宝とはオプチナの修道院の長老たちの伝統、聖伝、手紙、彼等の生涯についての思い出、業績などです。

長老たちが書いた本は、聖神<sup>o</sup>性において豊かな経験を持った人たちが書いた言葉であり、誰が読んでも多くの教えや教訓を得ることができます。何十年も前の人たちが悩んだ問題に対する答え、そして今日も、これからも人々が悩むであろうことの答えをここから得ることができるのです。

長老らの祈りの中に次の言葉があります。

主よ、今始まる日が私にもたらすであろう全てのことを、穏やかな心で受けとめられま

すように。

主よ、爾の聖なる御旨に完全に従うことができますように。

今日、如何なる時も、全てにおいて私を導き、支えて下さい。

今日、如何なる知らせを受けようとも、心穏やかに、そして全ては爾の聖なる御心であるという堅い信念と共に受け留められますように。

全ての私の言葉、行ない、思い、感情を護ってください。

全ての不測の出来事において、全ては爾より降り来たるものであることを覚えさせて下さい。

私の家族の一人ひとりと率直かつ賢明に接し、誰をも困惑させることなく、悲しませることがありませんように。

主よ、今日の出来事や疲れを乗り越えることができますように。

私の意思を支配し、祈ること、信ずること、主に恃みを置くこと、耐えること、赦すこと、愛することを教えて下さい。

アミン。

今回の祭典に於いて一番盛大な部分は、多くの巡礼者の見守る中での長老の不朽体の遷座です。全ての克肖者長老の数は 14 名です。

聖レフ、聖マカリイ、聖モイセイ、聖アントニイ、聖イラリオン、聖アナトリイ、聖イサキイ、聖イオシフ、聖バルサノフィイ、聖アナトリイ、聖ネクタリイ、聖ニーコン、聖イサキイ、そして聖アンヴロシイ。

彼らの特徴は、謹厳な修道生活と、世俗の人々に開かれた神品としての教導、深い祈り、信仰の範であり、また致命者となった者もありました。

1938 年、降誕祭の二日目、教会が生神女の祈祷を行っていた時、最後の長老掌院イサキイが銃殺されました。彼が反革命運動を行なったということが理由でした。修道士たちを指導する時、アンチ・ハリストスが地上に降ったと言ったと公式文書には書かれています。致命者聖イサキイは、20 人の信徒らとともに、160 km 離れた森の中に密かに埋められました。

残念なことに修道院の人間の血が流されたのは、これが最後ではありませんでした。5 年前に、復活祭の夜、3 名が精神異常者に殺されました。その中の一人、ワシリイ修

道司祭は、この悲劇の数日前、「ロシアの聖神<sup>o</sup> 性とは何か」と問われた時、「ロシアの聖神<sup>o</sup> 性とは主ハリストスである。主ハリストス及び正教会の他に如何なる聖神<sup>o</sup> 性もロシアには在り得ない」と答えています。

自分の歴史を大事にしない民族、聖なるものを守れない民族は滅亡します。

年をとってから長老たちは聖神<sup>o</sup> 性の賜物を発揮しています。

教導の才、精神の癒し、慧眼の才、預言の才、致命、これらの才能は、様々な形でオプチナの長老たちの間に現われました。彼らはいつの時代にも、主ハリストスの証人でした

オプチナの長老らの祈りによって、仁慈なる主が私たちを守ってくださいますように。

(総主教聖下の挨拶の一部)

多くのことがあなたたちの手によってなされました。私たちはそれを見てきた証人です。修道士の皆さんや信徒の奉仕、慈善家の献金などによって、この聖なる修道院が復興しつつあります。今日は多くの正教会信徒がこのオプチナに集まりました。この祭典の喜びを分かち合うために。

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、おめでとう

視聴さんのみなさん、おめでとうございます。

そして、オプチナの克肖者に祈りにおいて転達を求めたことのある全ての皆さん、おめでとうございます。

オプチナの克肖者長老らよ、我等のために神に祈り給え。

(露和訳テキスト作成:スヴェトラーナ山崎ひとみ)